

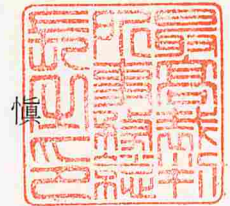
最高裁秘書第285号

令和3年2月16日

林弘法律事務所

弁護士 山中理司 様

最高裁判所事務総長 中 村



苦情の申出に係る諮問について（通知）

令和2年12月24日付けで最高裁判所が下記の司法行政文書を不開示としたことに対する苦情の申出について、本日、情報公開・個人情報保護審査委員会に諮問しましたので、通知します。

記

開示の申出があった司法行政文書の名称等

どのような事情があれば、職権特例判事補に指名された弁護士任官者が「高等裁判所の裁判事務の取扱上特に必要があるとき」に該当するものとして、判事補の職権の特例等に関する法律1条の2第1項に基づき、高等裁判所の判事の職務を行わせることとしているかが分かる文書（最新版）

最高裁秘書第465号

令和3年2月24日

山中理司様

情報公開・個人情報保護審査委員会

委員長 高橋 滋

諮問番号等について（通知）

司法行政文書の開示に係る苦情の申出について、諮問を下記のとおり受けたので、通知します。

記

1 苦情の申出に係る司法行政文書の名称等

どのような事情があれば、職権特例判事補に指名された弁護士任官者が「高等裁判所の裁判事務の取扱上特に必要があるとき」に該当するものとして、判事補の職権の特例等に関する法律1条の2第1項に基づき、高等裁判所の判事の職務を行わせることとしているかが分かる文書（最新版）

2 苦情の申出がされた日

令和3年1月18日

3 諮問番号等

(1) 諮問番号

令和2年度（最情）諮問第36号

(2) 諮問日

令和3年2月16日

（担当）秘書課文書開示第一係 電話03（3264）8330（直通）

最高裁秘書第466号

令和3年2月24日

山 中 理 司 様

情報公開・個人情報保護審査委員会

委員長 高 橋 滋

理由説明書の写しについて（送付）

下記の諮問について、最高裁判所から当委員会に提出された理由説明書の写しを別添のとおり送付します。

記

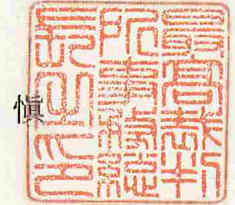
諮問番号 令和2年度（最情）諮問第36号

（担当）秘書課文書開示第一係 電話03（3264）8330（直通）

令和3年2月16日

情報公開・個人情報保護審査委員会 御中

最高裁判所事務総長 中 村



理由説明書

苦情申出人は、最高裁判所がした不開示の判断に対し、本件対象文書が本当に存在しないかどうか不明である旨主張しているが、下記のとおり当該判断は相当であると考えます。

記

1 開示申出の内容

どのような事情があれば、職権特例判事補に指名された弁護士任官者が「高等裁判所の裁判事務の取扱上特に必要があるとき」に該当するものとして、判事補の職権の特例等に関する法律1条の2第1項に基づき、高等裁判所の判事の職務を行わせることとしているかが分かる文書（最新版）

2 原判断機関としての最高裁判所の判断内容

最高裁判所は、1の開示の申出に対し、令和2年12月24日付けで不開示の判断（以下「原判断」という。）を行った。

3 最高裁判所の考え方及びその理由

判事補の職権の特例等に関する法律第1条の2第1項の「高等裁判所の裁判事務の取扱上特に必要があるとき」に該当するものとして、弁護士任官した職権特例判事補に高等裁判所の判事の職務を行わせるかどうかについては、個別的にその都度必要な検討を行った上で決定しており、本件開示申出に係る文書は作成又は取得していない。

よって、原判断は相当である。